

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県かすみがうら市

3 地域再生計画の区域

茨城県かすみがうら市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状と課題】

本市の人口は1995年をピークに人口減少に転じ、2015年の国勢調査では42,147人と1995年の93.1%となっており、国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計によると、2060年には23,000人まで減少する見通しとなっている。

今後の人口動態については、2008年における出生数は420人（9.4%）で死亡数456人（10.3%）と自然増減が均衡状態にあったが、2018年の出生数は257人（出生率：6.2%）、死亡数516人（死亡率：12.5%）と259人が減少しており、出生率の低下と高齢者の増加は年々増加傾向にあることから、当面においても自然減少が基調になると考えられる。

人口減少及び少子化、高齢化が進むことで、地域やコミュニティを支える担い手不足、教育施設の統廃合、高齢者の支援、生産年齢人口の減少等さまざまな影響が懸念される。

【基本目標】

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標に掲げ、積極的な企業誘致による安定した雇用の確保、移住・定住の推進や観光振興の強化による交流人口の増加に加え、交流人口から本市に多様な形で関わる「関係人口」へシフトさせる取り組み、結婚子育ての充実、多文化共生によるまちづくり、SDGsや新しい技術の取り込み等、人口減少に歯止めをかける効果的な取組を進めていく。

- ・基本目標 1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する
- ・基本目標 2 地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (2024度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	企業誘致等による市内での 就業者増加数	—	24人増	基本目標 1
イ	関係人口増加数	—	10,000人増	基本目標 2
ウ	市が実施する婚活サポート センター事業による婚姻数	2組	7組	基本目標 3
エ	多文化共生ボランティア増 加数	30人	80人	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する事業
- イ 地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる事業
- ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する事業

② 事業の内容

ア かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する事業

既存の産業集積を活用しつつ、高速道路や鉄道による広域利便性を活用しながら、引き続き企業誘致に取り組むとともに、「第1次産業分野への就業」、「起業・創業」に対する支援の強化、情報技術を活用した「多様な働き方」の実現等を目指す事業。

- 新規就農・就漁者への支援
- 果樹等の農業継承の推進
- 販路の拡大
- 地域ブランドの推奨と地域製品の消費拡大
- 企業誘致と連携体制の強化
- 産業・交流を創出する土地利用の推進
- 都市基盤の整備（産業基盤、居住基盤、都市内ネットワーク）
- 市内事業者に対する支援体制の充実
- 新しい働き方ができる環境づくり
- 地域を支える若い人材の組織化支援 等

イ 地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる事業

歩崎地域での交流機能を基盤とした「サイクリングをはじめとしたスポーツイベントの強化」、「シティプロモーション」や「観光企画力の強化」を図る等、交流人口から関係人口、さらには定住への展開を目指す事業。

- 自然環境を活かしたスポーツイベントの開催
- フィールドスポーツの環境整備
- 霞ヶ浦を生かした水辺のスポーツ振興
- 地域資源を生かした体験交流型観光の受け入れ態勢強化
- 観光企画・マーケティング力の強化
- 歴史的価値のある資源の活用振興
- 移住・定住の推進
- かすみがうら市の魅力発信 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

「市民を対象とする婚活支援」に重視し、国の施策と連動しつつ、霞ヶ浦をはじめとする本市の「地域資源を生かした子育て環境」の創出に加え、地域に対する理解とともに「国際化や情報化に対応した教育」を推進する事業。

- 市民の結婚と定住に向けた支援の強化
- 子育て支援の充実
- 国際化・情報化に対応した特色ある教育の充実
- 青少年健全育成の推進 等

エ 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する事業

人口減少や高齢化に伴い従来から課題となっている、地域の継承やコミュニティの活性化について、「地域への若年層の参加」などの新たな視点を取り入れるとともに、「外国人市民の受け入れ」、「安全・安心な環境づくり」、「人生100年時代への対応」などに取り組む事業。

- 多文化共生のまちづくりの推進
- コミュニティ活動の充実
- 集落部の暮らしの拠点づくり
- 廃校の活用
- 防災力の強化
- エネルギーの複線化
- 公共交通による広域アクセスの向上と移動円滑化の確保
- 人生100年時代に向けた健康寿命の増進 等

※ なお、詳細はかすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

30,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

各施策推進部署又は関連部署から、毎年9月及び3月末現在の進捗状況のヒアリングを行い、進捗状況等について、毎年度2回程度外部有識

者会議を開催し効果検証を行う。検証後は速やかにかすみがうら市公式HP上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで